

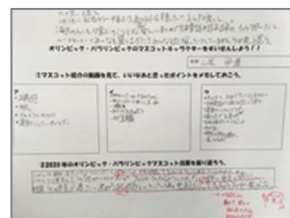
平成29年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
- II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
- III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
- IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
- V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県・政令市名【 札幌市 】

1 実践テーマ	【 I、V 】
2 実施対象者	札幌市立平岸高台小学校 【日時】平成29年1月30日（火）ほか 【対象】4年生 児童33名
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名（ 総合的な学習の時間 ） ② 行事名（ ） ③ その他（ ） (2) 地域における活動 ① イベント名（ ） ② その他（ ）
4 目標 (ねらい)	<ul style="list-style-type: none"> ・オリンピック・パラリンピックの理念や歴史及びマスコットの役割について理解を深めることができるようにする。 ・クラスで一つのマスコットを選ぶ活動を通して、2020年東京オリンピック・パラリンピックについての関心を一層高めることができるようにする。
5 取組内容	<p>○指導計画 総合的な学習の時間 全7時間</p> <ul style="list-style-type: none"> ・札幌オリンピックミュージアムに行き、阿部名誉館長の講話や展示品、アトラクションからオリンピックの歴史や精神を学ぶ。(4時間) ・オリンピックとパラリンピックの理念や価値、過去のマスコットを教室で確認。投票のポイントも児童との話し合いで決定。(1時間) ・前時に決まったポイントを確認し、教室でマスコットの投票。(1時間) ・マスコットの結果発表を受けて、学習の振り返り。(1時間)



6 主な成果	<ul style="list-style-type: none"> • オリンピックやパラリンピックは何のために行われるのか、オリンピックミュージアムの阿部雅司名誉館長の講話を通じて、子どもたちは理解を深めていた。特に、「世界平和に貢献している。」というところに、大会の意義を強く感じていた。 • マスコットが大会を盛り上げたり、様々なPR活動をしたりしていることを知り、「ただかわいいだけではいけないのだ。」と気づき、投票のポイントを考えていた。オリパラの理念や価値などを考えながら、マスコットの価値に迫っていた。 • 投票の際に、自分の班の意見を話し合いによって決めることで、相手の考えを認めることにつながり、話し合い活動の力も成長した。
7実践において工夫した点 (事業の特色)	取組の内容に記載した通り。
8主な課題等	<ul style="list-style-type: none"> • 年度当初からの位置付けではなかったため、授業時間の調整が必要だった。 • マスコット投票の取組においては、自分の推薦する案が選ばれないこともあるので、その点への十分な配慮が必要。
9来年度以降 の実施予定	経費や講師の確保等、持続可能な仕組みづくりを検討している。